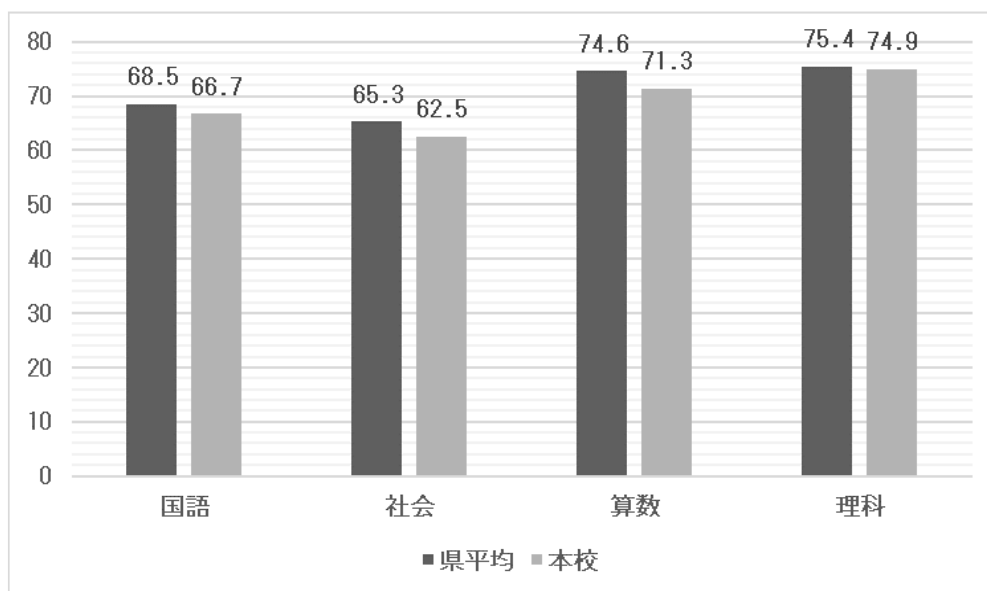


令和5年度鹿児島学習定着度調査について

川上小学校

1 自校・県の平均正答率の比較(県速報値)

	鹿児島県	川上小	差
国語	68.5	66.7	▼1.8
社会	65.3	62.5	▼2.8
算数	74.6	71.3	▼3.3
理科	75.4	74.9	▼0.5



2 自校の課題に対する改善策

○ 国語と理科はほぼ県平均と同程度でしたが、社会は2.8ポイント、算数は3.3ポイント県平均を下回りました。今後は、以下の課題の解決に向けて全職員で更なる授業改善に取り組めます。

【国語】

文中の主語、述語、修飾語の関係の理解に課題が見受けられました。今後、日々の日記指導で主語、述語、修飾語の使い方に誤りがあった際には、その都度指摘し、書き直すことに取り組んでいきます。

また、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することにも課題が見受けられました。資料活用能力を伸ばすために、社会科や理科などでグラフや表を分析する時間を設け、短文で文章化することに取り組んでいきます。

【社会】

社会科に関する重要語句についての理解に課題が見受けられました。重要語句については、言葉の意味をしっかりと理解させ、その語句が使われる資料や教科書の記述文章と照らし合わせて取り扱うことに取り組んでいきます。

また、資料活用能力にも課題が見られました。資料から読み取ったことを文章にまとめることに取り組んでいきます。

【算数】

各グラフの差を1目盛りで注意して答えることに課題が見られました。グラフの1目盛りがいくつなのかを常に意識して問題に答えることに取り組んでいきます。

また、問題から面積の算出であることを読む・推測する・確認することに課題が見られました。面積の論理的思考に関する問題に繰り返し取り組み、問題に慣れることに取り組めます。

【理科】

電気を通すものと磁石につくものを答えることや雲の動きを答えることに課題が見られました。各学年の電気や磁石を扱う単元で振り返りをすることや雲の動きを確認するために方位の問題に慣れることなどに取り組めます。条件制御(変える条件・変えない条件)について理解することにも課題が見られましたので、繰り返しの指導に取り組んでいきます。